

令和6年度指定管理者業務モニタリング評価表

施 設 名	豊橋市障害者福祉会館(さくらピア)
所 在 地	豊橋市東新町15番地
指 定 管 理 者	豊橋障害者(児)団体連合協議会
指 定 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
担 当 課	福祉部障害福祉課(0532-51-2340)
令和5年度指定管理料 (決算)	35,733千円
令和6年度指定管理料 (決算見込)	39,902千円

項 目		基準	評価				
管 理 業 務 の 実 施 状 況 に 関 す る 項 目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	ポストコロナで形式を工夫しながら、障害者の情報収集及び生涯学習の場として、障害者の社会参加に役立つ事業が実施されている。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	仕様書のとおり、適正かつ効率的な施設管理職員の配置がなされており、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	防火管理講習等の業務上必要な講習会への参加や、「みんなのコミュニケーション」講座への参加で障害者理解を促し、日々の業務に役立てている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書の「個人情報取扱特記事項」を遵守し、個人情報を適正に管理している。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	危機管理マニュアル及び緊急時の連絡体制が整備されている。また、9月には減災学習、3月には3.11を忘れない集いを行うなど、体験を通した防災の啓発活動を行っている。				
施 設 利 用 状 況 に 関 す る 事 項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	利用者の決定は、条例・施行規則に則して適正に行っている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。 (利用状況を数値化して令和5・6年度を比較)		R4年度	R5年度	R6年度	比較(R6-R5)
			開館日数	293日	294日	292日	▲2日
			延べ利用者数	33,557人	37,544人	40,944人	3,400人
			【要因分析】 新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に落ち着いてきたため、延べ利用者数は、令和2年度の23,745人から毎年回復傾向にある。				
	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	・月刊紙「さくらだより」の発行やホームページでの活動報告、広報エフエムとよはし等を通して、広く市民にPRし、障害者に対する理解啓発に努めている。行事開催の際には、新聞各社への取材依頼をし、事業を幅広く紹介している。 ・事業実施後のアンケートなどを参考に、「ぬり絵教室」、「リトミック体験」(新規)などを開催、サービス向上に努めている。				
	利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	利用者アンケート(施設利用満足度) [施設全般について] 大変満足 47 % ほぼ満足 52% やや不満 1% 大変不満 0% [職員対応について] 大変満足 68% ほぼ満足 31% やや不満 1% 大変不満 0% アンケート結果を分析すると、施設全般、職員対応ともに大変満足・ほぼ満足という回答がほとんどとなっており、多くの利用者に満足していただいている。具体的な意見としては、「Wifiを学習会などで活用したい」「冷暖房完備の体育館はありがたい」などの意見があった。				
	意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内 容			対 応	
			非常階段に手すりをつけてほしい			取付しました	
			屋上プールを熱中症対策してほしい			日よけテントの改修などの暑さ対策で対応したい	
体育館の音響設備が古いので新調してほしい			携帯アンプとマイクは、R7年度に納入予定				
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	目立った苦情はないが、建物の老朽化による不具合については、順次対応(手すり補修、避難経路の整備等)。また、Wifi設置に伴い、使い方のわからない利用者に対し丁寧に説明した。					

管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	実施されている。仕様書に基づき、四半期毎に収支状況報告書を適切に提出した。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	水道光熱費や修繕費の増加等、計画を超えた支出もあったが、他の予算科目で調整し、全体として赤字にならない運営を行った。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	39,902千円	指定管理事業費	39,314千円
			利用料金収入			
			自主事業収入			
			その他収入	4千円		
			収支差額		592千円	

指定管理者の提案事業の実施状況	自主事業として、以下のとおり実施した。 ・スポーツ文化教室:12講座・64コマ 参加者数:771人(前年度より43人増) (STT、バドミントン、クラフト、ぬり絵、ダンス、ボッチャ(水曜日開催)、ボッチャ(日曜日開催)、水泳、テニス、絵手紙、寄せ植え、陶芸) ・障害児(者)余暇支援事業:7講座 参加者数:187人(前年度より37人減) (木登り(中止)、親子陶芸、デジリハ、映画会(夏/春)、ホースセラピー、リトミック、クッキング) ・教養講座:4講座 参加者数81人(前年度より6人減) (緑のカーテン、スイカの話、海外のクリスマス、ひなまつりレク) ・会館活性化:4講座 参加者数467人(前年度より60人増) (セタライブ、トワイライトライブ、新年企画、春こいまつり) ・減災学習:4講座 593人(前年度より128人減) (防災タイム、親子防災教室、減災学習、3.11を忘れない集い)
-----------------	--

当年度の対応方針	コロナ禍で減少した利用者数については、各種イベントを開催するなどした結果、順調に利用者数を回復させているため、引き続き魅力あるイベントの実施に努めていただきたい。 施設管理については老朽化に伴う故障や破損がみられることから、引き続き日常的な安全点検に注力し、補修等が必要な場合は緊急性の有無を判断したうえでの対応を期待する。
----------	--

指定管理者の自己評価	利用人数が前年度に比べて少し増加した。社会の高齢化に伴い、さくらピアの利用者も障害のあるなしを問わず高齢者が多くなった。また、成人障害者の余暇支援の要望が多かったため、学齢期対象だった映画会等を成人枠まで広げたところ、好評を得た。事業がマンネリ化しないよう、常に当事者ニーズを聞きながら運営している。 障害者団体の特性を最大限に生かした「みんなのコミュニケーション」への協力と、9月初旬の2週間に会館利用者全員を対象に行う「防災タイム」は全国的にも類のない意義深い事業であると自負している。 建物管理は、体育館と事務所奥の部屋の天井修理は完了したが、会館全体の雨漏りは止まらず、特にロビー吹き抜け天井部分は、懸案事項である。毎日の点検で利用者には事故が起きないよう、事前の配慮を常に心がけた。また利用者会議で直接要望を聞き運営に反映させている。
------------	---

総合評価	スポーツ文化教室や余暇支援事業といった各種イベントを開催し、昨年度よりも多くの参加者を集めることができた。こうした活動によって、障害児(者)の社会参加を促進したという点で評価できる。 光熱水費や修繕費の増加等、経費の管理が大変な状況が続いているが、限られた予算の中で適切な運営を行っている。 施設管理についても、日常点検の結果、必要に応じて関係各所に確認を取りながら適切な修繕等を行い、利用者に対して配慮ある対応ができています。
------	---

次年度の対応方針	コロナ禍で減少した利用者数については、各種イベントを開催するなどした結果、順調に利用者数を回復させているため、アンケートなどを参考に引き続き魅力あるイベントの実施に努めていただきたい。 施設管理については、老朽化に伴う故障や破損が随所にみられることから、引き続き日常的な安全点検に注力し、市と指定管理者で情報共有を行い、協定書に基づく役割分担に基づき、適切な対応を講じていただきたい。
----------	--